

# 小豆島地域公共交通計画 (概要版)

令和3年11月

# 小豆島地域公共交通計画の策定①

## ■ 地域公共交通計画とは・・・

地域公共交通の活性化及び再生に関する法律第5条に基づき作成される計画で、「地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿」を明らかにする地域公共交通のマスタープランとして、地方公共団体は作成するよう努めなければならない。

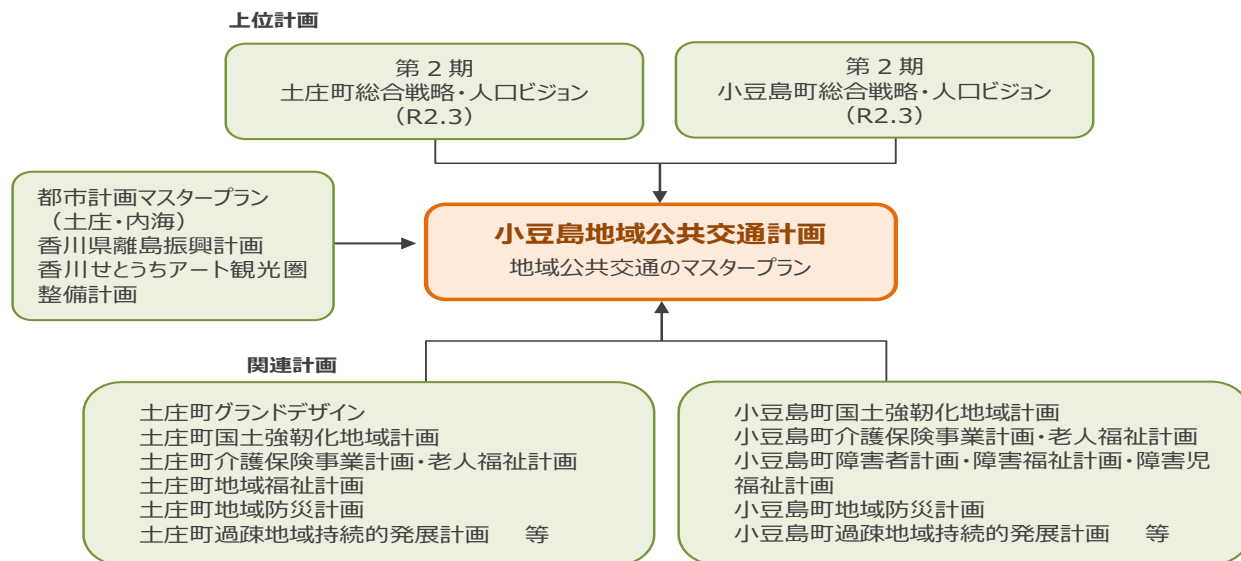
## ■ 法律の変遷及び計画策定の経緯

|                      | 平成19年制定  | 平成26年改正   | 令和2年改正   |
|----------------------|--|---|--|
| 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通活性化再生法を制定し、市町村が主体となって幅広い関係者の参加による協議会が設置できるようになった。</li> <li>・「地域公共交通総合連携計画」の策定を通じて、地域公共交通の維持・確保や利便性向上に取り組むことを促進。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりと連携(コンパクト・プラス・ネットワーク)、面的な公共交通ネットワークの再構築を図るため、「地域公共交通網形成計画」を法定計画に規定。</li> <li>・バス路線の再編等を実施する「地域公共交通再編事業」を創設。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域公共交通網形成計画」を「地域公共交通計画」と改め、地方公共団体の作成を努力義務化。</li> <li>・「地域旅客運送サービス継続事業」、「地域公共交通利便増進事業」等を創設。</li> </ul> |
| 協議会(両町)              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成21年6月18日 <b>小豆島地域公共交通協議会を設立</b></li> <li>・平成22年3月 <b>小豆島地域公共交通総合連携計画を策定(H22～H27)</b></li> </ul>                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年3月20日 路線バスの大胆な運賃設定(上限300円)など <b>抜本的な路線再編を実施</b>するため、<b>小豆島地域公共交通網形成計画を策定(H28～H32)</b></li> </ul>                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年10月 航路との接続利便性向上を図るための路線バスダイヤの改正等を盛り込んだ、<b>小豆島地域公共交通計画を策定(R3～R7)</b></li> </ul>                     |

■ 計画区域 小豆島区域(土庄町・小豆島町)

■ 計画期間 令和3年度から令和7年度の5年間

## ■ 計画の位置づけ



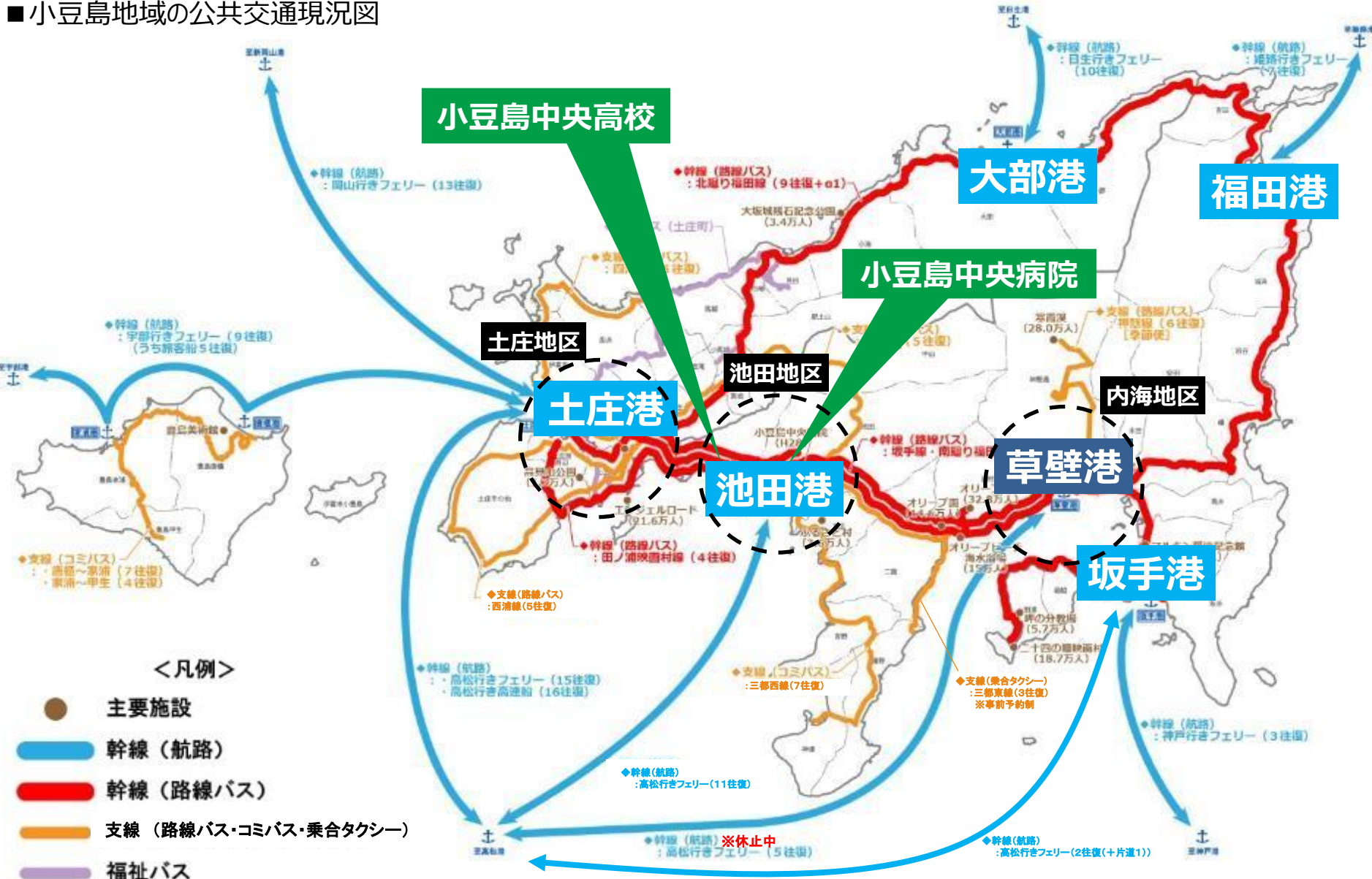
# 小豆島地域公共交通計画の策定②

## ■小豆島地域の公共交通の現状と問題点

| 手段     | ルート等                                   | 路線等   | 現状・問題点   |
|--------|--|---|--|
| 航路     | 土庄港<br>池田港<br>草壁港<br>坂手港<br>福田港<br>大部港 | 高松～小豆島(土庄)フェリー・高速船<br>新岡山～小豆島(土庄)フェリー<br>宇野～豊島～小豆島(土庄)フェリー・旅客船<br>高松～小豆島(池田)フェリー<br>高松～小豆島(草壁)フェリー・高速船【※運休中】<br>神戸～小豆島(坂手)～高松(高松東港)フェリー<br>姫路～小豆島(福田)フェリー<br>日生～小豆島(大部)フェリー | <ul style="list-style-type: none"> <li>・高松との複数航路によるアクセスが可能で、利便性は高いが、時間帯や目的地によって、どの航路を選択するのが最適であるかのリアルタイムの情報が不足している。</li> <li>・<b>高松～小豆島(草壁)フェリー(5便/日)が令和3年3月31日をもって休止</b>となった。</li> </ul>  |
| 路線バス   | 小豆島内                                   | 坂手線<br>南廻り福田線<br>北廻り福田線<br>四海線<br>西浦線<br>中山線<br>神懸線【※季節運行】<br>田ノ浦映画村線   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>以前は直通便のあった北廻り福田線(土庄港～福田港)の乗り換え改善の要望。</b></li> <li>・<b>航路とのアクセス性向上のためのダイヤ改正。</b></li> <li>・<b>慢性的な乗務員不足。</b></li> <li>・<b>車両の老朽化による修繕費用等の増高。</b></li> <li>・<b>コロナ禍による観光客数の減少を受け、非常に厳しい運営状況。</b></li> </ul> |
| 町営バス   | 豊島内<br>小豆島内                            | 豊島シャトルバス【土庄町】<br>三都線【小豆島町】  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・運転手の確保又はダイヤ改正の検討。</li> <li>・6便/日→7便/日へ増便。三都東線の廃止。</li> </ul>   |
| スクールバス | 学区内                                    | 土庄中学校、土庄小学校、豊島中学校(11月～2月のみ)、豊島小学校【土庄町】<br>小豆島中学校、池田小学校、星城小学校、安田小学校【小豆島町】  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童・生徒の居住実態に応じ、柔軟に運行ルート・ダイヤを設定し運行。小豆島町では、一部地域の児童・生徒へ路線バスの運賃を補助している。</li> <li>・毎年運行ルート・ダイヤの見直しが入るため、一般利用客との混乗は難しい。</li> </ul>  |
| 福祉バス   | 土庄町内                                   | 四海(滝宮)、北浦(空地・ナベワ)、大鐸(小馬越・笠滝)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・路線バス空白地域を対象として、高齢者等の医療機関への通院の便宜を図ることを目的に運行しているが、運転手の確保、車両の維持管理などに課題がある。</li> </ul>   |
| 乗合タクシー | 小豆島町内                                  | 小蒲野～池田港T前【事前登録制・予約制】  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・R3.6.1～開始。事前登録者のみ予約可能。</li> </ul>  |
| その他    | 小豆島内<br>豊島内                            | タクシー、レンタカー、レンタサイクル<br>タクシー、レンタサイクル  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>タクシーも、コロナ禍による観光客数の減少を受け、路線バス同様、非常に厳しい運営状況。</b></li> <li>・レンタサイクルとの連携の必要性。</li> </ul>  |

# 小豆島地域公共交通計画の策定③

## ■小豆島地域の公共交通現況図



# 小豆島地域公共交通計画の策定④

## ■地域の課題

離島及び過疎地域の指定を受ける小豆島では、急速に人口減少と少子高齢化が進んでおり、労働力人口の減少に伴う後継者不足・担い手不足が問題となっているとともに、高齢化に伴う医療、介護等の社会保障費の増嵩、経済規模の縮小については地域社会の衰退等が懸念されている。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、小豆島を代表する観光産業が落ち込んでおり、ウイズコロナ、ポストコロナの取組みは喫緊の課題となっている。一方で、住民の価値観やライフスタイルの多様化、地球環境問題の顕在化、SDGsへの取組み、脱炭素社会の実現、デジタル社会の推進など、時代の潮流の大きな変化の中、小豆島は自然環境の保全、多様な文化の継承、良好な景観の形成など多面に渡る機能を有していることから、今後においても地域資源を活用した地域活力の更なる向上を図り、持続可能な地域社会の形成が求められている。そのため、公共交通のみならず、観光・産業・教育・福祉などまちづくりに関わる多様な分野との連携により、一層の地域住民の「安全・安心な暮らしの確保」を図るとともに、人と自然、文化等が共生する「誇りを持てる地域づくり」に取り組み、人口減少時代における新しい社会のあり方をつくっていかなければならない。

## ■地域の持続的発展のための基本目標

両町人口ビジョン・総合戦略に掲げる基本（数値）目標とする。

|          | 土庄町                    | 小豆島町           |
|----------|------------------------|----------------|
| 町の人口     | 10,403人(2060年)         | 8,858人(2060年)  |
| 推定観光入込客数 | 1,270千人(2024年) ※豊島含む   | 1,200千人(2024年) |
| 移住者数     | 1,150人／R2～R6累計 ※Uターン者数 | 140人／年 ※Uターン者数 |

## ■小豆島地域公共交通計画の基本的な方針

まちづくりと連携した公共交通体系の構築と、利用者ニーズを踏まえたきめ細やかな対応による、誰もが安心して快適に移動できる持続可能な地域公共交通の充実

### 基本的な方針に基づく方向性

コンパクト+ネットワークのまちづくりと連携し、3つの地域拠点と港湾（交通拠点）、主要観光拠点を円滑に連絡し、骨格としての公共交通網を形成する

人々の移動実態やニーズに応じた柔軟な運行形態をきめ細やかに見直すことにより、誰もが安心して快適に移動できる公共交通サービスを提供する

小豆島地域における複数の交通モード（交通手段）を最大限活用するとともに、人々にとって使いやすい、分かりやすいサービス向上を検討・実践する

年間利用者数を維持・向上し、収支環境の健全化・公的負担の削減を目指す

# 小豆島地域公共交通計画の策定⑤

## ◎ 計画目標の検討

### 目標1

まちづくりの新たな拠点である池田地区(小豆島中央病院、小豆島中央高校等)における拠点性を高めるためのまちづくり施策との連携を図った利用促進事業の展開

### 目標2

主要な交通拠点である港湾へのアクセスや乗継ぎの利便性を向上させ、シームレスな地域公共交通を実現

### 目標3

人々にとって使いやすい、分かりやすい地域公共交通サービスの導入

### 目標4

安全で安心な暮らしを支える、持続可能な地域公共交通の実現

## ◎ 数値目標の設定

| 目標           | 数値目標                                   | 現状値(R2)   | 中間目標値                  | 目標値                    |                      |
|--------------|--|---|------------------------|------------------------|----------------------|
| 目標1<br>まちづくり | 池田地区(小豆島中央病院及び小豆島中央高校)における1月あたりの平均乗降人数 | 11,584人/月   | 11,500人/月以上<br>(維持、向上) | 11,500人/月以上<br>(維持、向上) |                      |
|              | 小豆島中央高校生徒のうち通学定期の購入者数の割合               | 31.9%   | 30%以上<br>(維持、向上)       | 30%以上<br>(維持、向上)       |                      |
| 目標2<br>利用ニーズ | 航路と路線バスとの接続の改善(本数)                     | 土庄港への上り接続<br>・北回り福田線                                    | 1本/日                   | 5本/日                   | 5本/日                 |
|              |  | 池田港への上り接続<br>(5分以上30分以内)<br>・南廻り福田線<br>・坂手線<br>・田ノ浦映画村線 | 2本/日<br>2本/日<br>3本/日   | 4本/日<br>4本/日<br>4本/日   | 4本/日<br>4本/日<br>4本/日 |
|              |  | 池田港到着からの下り接続<br>(5分以上30分以内)<br>・南廻り福田線<br>・坂手線          | 4本/日<br>5本/日           | 5本/日<br>8本/日           | 5本/日<br>8本/日         |

# 小豆島地域公共交通計画の策定⑥

## ◎数値目標の設定

| 目標           | 数値目標  | 現状値(R2)                                 | 中間目標値                                       | 目標値   |
|--------------|---|---|---|---|
| 目標3<br>利便性向上 | 路線バスフリー乗車券の年間販売枚数(観光客を想定)                           | 21,372枚/年<br>(H30:25,317枚/年)            | 25,000枚/年以上<br>(維持、向上)<br>※瀬戸芸開催時は対<br>前回比増 | 25,000枚/年以上<br>(維持、向上)<br>※瀬戸芸開催時は対<br>前回比増 |
| 目標4<br>持続可能  | 路線バスの年間利用者数   | 580,465人/年<br>(H30:704,012人/年)          | 704,000人/年以上<br>(維持、向上)                     | 704,000人/年以上<br>(維持、向上)                     |
|              | 路線バスに係る財政支出状況<br>(小豆島オリーブバス(株)に対して支出している<br>補助金の総額) | 30,575千円/年<br>(H28~R2平均:27,002千<br>円/年) | 27,000千円/年以下<br>(現状以下)                      | 27,000千円/年以下<br>(現状以下)                      |
|              | 路線バスの経常収支率<br>(小豆島オリーブバス(株)の経常収支率)                  | 68.9%<br>(H28~R2平均:84.1%)               | 90.0%以上                                     | 90.0%以上                                     |

# 小豆島地域公共交通計画の策定⑦

## ◎ 目標達成のための施策・事業・資金調達計画

【目標1：まちづくりの新たな拠点である池田地区（小豆島中央病院、小豆島中央高校等）における拠点性を高めるためのまちづくり施策との連携を図った利用促進事業の展開】

### 施策①：まちづくり施策との連携を図った利用促進事業の展開

#### ・実施の目的

⇒新たな拠点となっている池田地区の拠点性を更に高めるため、観光・教育・福祉・産業などの多分野におけるまちづくり施策との連携を図った利用促進事業を展開し、公共交通の利用増加はもとより、クロスセクター効果を高める。

#### ・事業の概要

⇒池田地区は、地域の新たな拠点として小豆島中央病院・小豆島中央高校が整備され、多くの人々の集積がみられる。整備から一定期間が経過したことから、利用実態やニーズについて改めて検証を行い、人々が利用しやすくなるように観光・教育・福祉・産業など多分野におけるまちづくり施策と連携した利用促進を図る。

#### ・主な事業エリア及び実施主体・実施時期

| 施策・事業名                | 主な事業エリア | 実施主体                         | 実施内容  |
|-----------------------|---------|------------------------------|---|
| まちづくり施策との連携を図った利用促進事業 | 両町内     | 小豆島地域公共交通協議会<br>両町<br>バス事業者等 | ・Wi-Fi、待合所等の環境整備<br>・高校生通学定期購入補助事業<br>・高齢者等運転免許証自主返納支援事業<br>・中学生を対象としたバスの乗り方教室 など |

|      | 基準年    | 前期  |      |      | 後期   |      |
|------|--------|---|------|------|------|------|
|      | R2-3年度 | R3年度  | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| 実施時期 | 計画策定   | まちづくり施策との連携を図った利用促進事業の展開<br>・Wi-Fi、待合所等の環境整備 ・高校生通学定期購入補助事業<br>・高齢者等運転免許証自主返納支援事業 ・中学生を対象としたバスの乗り方教室 など |      |      |      |      |
|      |        |   | 中間評価 |      | 最終評価 |      |

| 具体的な実施内容          | 実施主体                                    | 計画期間中における取組み                   |
|-------------------|---|--------------------------------|
| 車内、拠点等のWi-Fi環境整備  | 小豆島地域公共交通協議会<br>小豆島リープバス(株)<br>土庄町・小豆島町 | 整備について検討                       |
| 待合所ベンチ等の備品整備      | 小豆島地域公共交通協議会<br>小豆島リープバス(株)<br>土庄町・小豆島町 | 必要に応じて整備                       |
| 待合所、駐輪場等のハード整備    | 土庄町・小豆島町                                | 必要に応じて整備<br>(R3：草壁港バス待合所及び駐輪場) |
| 小豆島中央高校生徒通学定期購入補助 | 土庄町・小豆島町                                | 継続的に実施                         |
| 高齢者等運転免許証自主返納支援   | 土庄町・小豆島町                                | 継続的に実施                         |
| 中学生を対象としたバスの乗り方教室 | 小豆島地域公共交通協議会<br>小豆島リープバス(株)<br>土庄町・小豆島町 | 継続的に実施                         |

【目標2：主要な交通拠点である港湾へのアクセスや乗継ぎの利便性を向上させ、シームレスな地域公共交通を実現】

### 施策②：北廻り福田線、坂手線、南廻り福田線及び田ノ浦映画村線の運行形態の見直し

#### ・実施の目的

⇒北廻り福田線、坂手線、南廻り福田線及び田ノ浦映画村線において利用者のニーズに応じた運行形態の見直しを行う。

#### ・事業の概要

⇒前回の計画では、新たなまちづくりの拠点として、池田地区を中心とした路線バスの再編を行ったが、一部利用者の声として北廻り福田線の土庄港への直通便を望む声があがっていたことから、利用者のニーズに応じた運行形態の見直しを行う。

⇒草壁～高松航路の運休に伴い、内海地区と池田地区（池田港）との移動ニーズが高まると想定されることから、これらについても視野に入れた見直しを行う。

#### ・主な事業エリア及び実施主体・実施時期

| 施策・事業名   | 主な事業エリア                                | 実施主体                   | 実施内容                   |
|----------|--|------------------------|------------------------|
| 運行形態の見直し | ・北廻り福田線<br>・坂手線<br>・南廻り福田線<br>・田ノ浦映画村線 | 小豆島地域公共交通協議会<br>バス事業者等 | ・利用ニーズに応じたダイヤ、運行経路の見直し |

|      | 基準年    | 前期                                     |      |      | 後期   |      |
|------|--------|--|------|------|------|------|
|      | R2-3年度 | R3年度                                   | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 |
| 実施時期 | 計画策定   | 新たな運行形態による運行<br>・利用ニーズに応じたダイヤ、運行経路の見直し |      |      |      |      |
|      |        |  | 中間評価 |      | 最終評価 |      |

| 具体的な実施内容                 | 実施主体        | 計画期間中における取組み                         |
|--------------------------|-------------|--------------------------------------|
| 北廻り福田線の運行経路の見直し          | 小豆島リープバス(株) | R3年度中に実施<br>(以降ニーズや環境変化等に合わせ継続的に見直し) |
| 坂手線、南廻り福田線、田ノ浦映画村線のダイヤ改定 | 小豆島リープバス(株) | R3年度中に実施<br>(以降ニーズや環境変化等に合わせ継続的に見直し) |



# 小豆島地域公共交通計画の策定⑧

## ◎ 目標達成のための施策・事業・資金調達計画

### 【目標3：人々にとって使いやすい、分かりやすい地域公共交通サービスの導入】

#### 施策③：情報提供の充実等による利便性の向上

- ・実施の目的  
⇒ 航路情報は既に整備、提供済みであるが、路線バス情報と一元化して提供することにより、利用者にとって分かりやすい公共交通を目指す。
- ・事業の概要  
⇒ 航路、路線バスの運行ルート、ダイヤ、運賃等を同一のプラットフォーム（標準的なバス情報フォーマット（GTFS-JP データ））にて情報提供し、出発地から目的地までの一連の移動情報を提供する。  
⇒ モバイルチケットの導入及びフリー乗車券の販路拡大により、観光客等の利便性向上を図る。
- ・主な事業エリア及び実施主体・実施時期

| 施策・事業名   | 主な事業エリア | 実施主体                                    | 実施内容  |
|----------|---------|---|---|
| 情報提供の充実等 | 全路線     | 小豆島地域公共交通協議会<br>両町<br>小豆島観光協会<br>バス事業者等 | ・持続可能なプラットフォーム（GTFS-JP データ）による情報提供<br>・モバイルチケットの導入<br>・フリー乗車券の販路拡大 など |

|      | 基準年     |       | 前期                              |                           | 後期    |       |
|------|---------|-------|---------------------------------|---------------------------|-------|-------|
|      | R2-3 年度 | R3 年度 | R4 年度                           | R5 年度                     | R6 年度 | R7 年度 |
| 実施時期 | 計画策定    |       | 路線バス GTFS-JP データ作成、提供           | 航路情報と路線バス情報を一元化した情報提供サービス |       |       |
|      |         |       | ・モバイルチケットの導入<br>・フリー乗車券の販路拡大 など |                           | 中間評価  | 最終評価  |

| 具体的な実施内容               | 実施主体  | 計画期間中における取組み                      |
|------------------------|---|-----------------------------------|
| 路線バス GTFS-JP データの作成、提供 | 小豆島地域公共交通協議会<br>小豆島リーバス(株)<br>小豆島観光協会<br>土庄町・小豆島町 | R4 年度中に作成、提供（以降ダイヤ改正等に合わせ継続的に見直し） |
| フリー乗車券へのモバイルチケットの導入    | 小豆島リーバス(株)  | R3 年度中に導入                         |
| フリー乗車券の販路拡大            | 小豆島リーバス(株)<br>小豆島観光協会<br>航路事業者                    | 継続的に実施                            |

### 【目標4：安全で安心な暮らしを支える、持続可能な地域公共交通の実現】

#### 施策④：新たなキャッシュレス決済の導入による利便性の向上

- ・実施の目的  
⇒ 利用者の利便性の向上と非接触による安全性の向上を目指し、全線において新たなキャッシュレス決済（全国交通系 IC カード（10 カード）等）を導入する。
- ・事業の概要  
⇒ 現在、小豆島内の路線でのみ地域 IC カード（IruCa）の利用が可能であるが、多くの路線が現金または回数券・定期券で利用されている。全国交通系 IC カード（10 カード）を豊島を含む全線において導入することにより、住民はもとより、観光客の利便性向上を目指す。  
⇒ QR コード決済など多様なキャッシュレス決済への対応を検討する。  
⇒ モバイルチケットの導入により、観光客等の利便性向上を図る。【再掲】
- ・主な事業エリア及び実施主体・実施時期

| 施策・事業名          | 主な事業エリア | 実施主体                         | 実施内容  |
|-----------------|---------|------------------------------|---|
| 新たなキャッシュレス決済の導入 | 全路線     | 小豆島地域公共交通協議会<br>両町<br>バス事業者等 | ・全国交通系 IC カード（10 カード）の導入<br>・QR コード決済など多様なキャッシュレス決済への対応<br>・モバイルチケットの導入【再掲】 |

|      | 基準年     |            | 前期                            |                             | 後期    |       |
|------|---------|------------|-------------------------------|-----------------------------|-------|-------|
|      | R2-3 年度 | R3 年度      | R4 年度                         | R5 年度                       | R6 年度 | R7 年度 |
| 実施時期 | 計画策定    | IC カード機器導入 | IC カード（IruCa カード及び 10 カード）の運用 | QR コード決済など多様なキャッシュレス決済の導入検討 |       |       |
|      |         |            | モバイルチケットの導入                   |                             | 中間評価  | 最終評価  |

| 具体的な実施内容                   | 実施主体                                   | 計画期間中における取組み |
|----------------------------|--|--------------|
| 全国交通系 IC カード（10 カード）の導入    | 小豆島地域公共交通協議会<br>小豆島リーバス(株)<br>土庄町・小豆島町 | R3.10 から導入   |
| QR コード決済など多様なキャッシュレス決済への対応 | 小豆島地域公共交通協議会<br>小豆島リーバス(株)<br>土庄町・小豆島町 | 導入について検討     |
| フリー乗車券へのモバイルチケットの導入【再掲】    | 小豆島リーバス(株)                             | R3 年度中に導入    |

# 小豆島地域公共交通計画の策定⑨

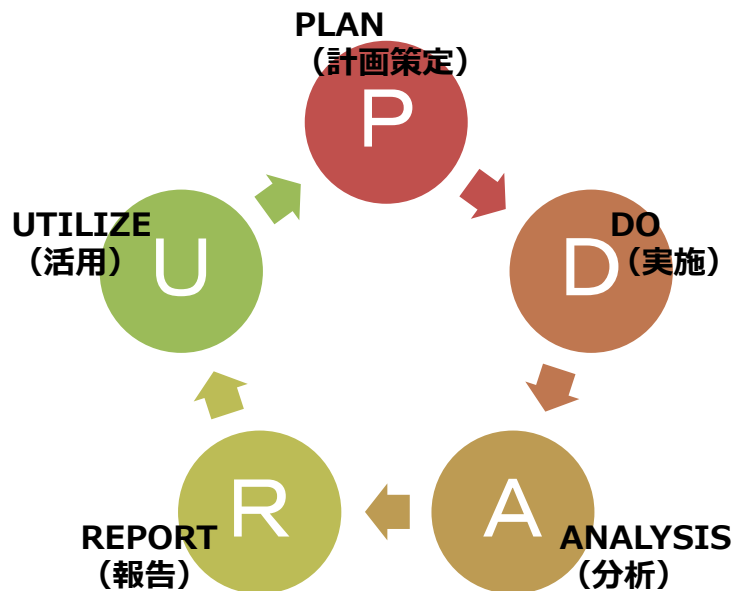
## ◎ 計画の達成状況の評価

各目標の達成状況を確認するため、PDARUサイクル(Plan(事業の計画策定)・Do(実施)・Analysis(分析)・Report(報告)・Utilize(活用))に基づく評価を毎年実施し、協議会・両町議会への報告と、必要に応じて計画の評価・見直しを行い、次年度計画や次期計画に活かせるより良い取組みとなるように改善する。

また、行政や交通事業者だけでなく、住民、小豆島地域の商業・観光・病院施設・介護施設・学校等の関係者など、多様な実施主体が関与しながら計画を推進するため、住民ニーズを適宜収集しながら、事業の達成状況を検証する。

さらに、本計画全体に関しても、計画の前期(中間年次)、後期(最終年次)に目標指標に対する評価を行い、適宜計画全体の見直しを行う。

※路線バス利用者数や収支(経常収支率及び収支差額)等、毎年度補足可能なもので、短期的に効果が発現する指標については、毎年モニタリング・評価を実施することとする。



各目標の達成状況を確認するため、PDARUサイクル(Plan(事業の計画策定)・Do(実施)・Analysis(分析)・Report(報告)・Utilize(活用))に基づく評価を毎年実施し、協議会・両町議会への報告と、必要に応じて計画の評価・見直しを行い、次年度計画や次期計画に活かせるより良い取組みとなるように改善する。

また、行政や交通事業者だけでなく、住民、小豆島地域の商業・観光・病院施設・介護施設・学校等の関係者など、多様な実施主体が関与しながら計画を推進するため、住民ニーズを適宜収集しながら、事業の達成状況を検証する。

さらに、本計画全体に関しても、計画の前期(中間年次)、後期(最終年次)に目標指標に対する評価を行い、適宜計画全体の見直しを行う。

【計画年次全体におけるPDARUサイクル】

| 項目          | 基準年           | 小豆島地域公共交通計画 2021 |           |              |              |              |
|-------------|---------------|------------------|-----------|--------------|--------------|--------------|
|             | R2-3年度        | 前期               |           |              | 後期           |              |
|             |               | R3年度             | R4年度      | R5年度         | R6年度         | R7年度         |
| P(計画の策定)    | 計画の調査 → 計画の策定 |                  |           |              |              |              |
| D(施策・事業の実施) |               | 施策・事業の実施(前期)     |           |              | 施策・事業の実施(後期) |              |
| A(分析)       |               |                  | (満足度調査) → | 前期実施施策・事業の分析 | (満足度調査) →    | 後期実施施策・事業の分析 |
| R(報告)       |               |                  |           | 報告           |              | 報告           |
| U(活用)       |               |                  |           | 後期計画へ活用      |              | 次期計画へ活用      |

【単年次におけるPDARUサイクル】

| 項目          | 単年度 |    |    |    |    |         |     |     |         |          |    |                   |
|-------------|-----|----|----|----|----|---------|-----|-----|---------|----------|----|-------------------|
|             | 4月  | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月      | 10月 | 11月 | 12月     | 1月       | 2月 | 3月                |
| P(計画の策定)    |     |    |    |    |    |         |     |     |         |          |    | 次年度計画の策定          |
| D(施策・事業の実施) |     |    |    |    |    | 事業の実施   |     |     |         |          |    | 見直し案の準備           |
| A(分析)       |     |    |    |    |    | 事業効果の分析 |     |     |         |          |    | 協議会の最終評価          |
| R(報告)       |     |    |    |    |    |         |     |     | 協議会への報告 | 両町議会への報告 |    |                   |
| U(活用)       |     |    |    |    |    |         |     |     |         |          |    | 見直し案の検討・次年度計画への活用 |

※路線バス利用者数や収支(経常収支率及び収支差額)等、毎年度補足可能なもので、短期的に効果が発現する指標については、毎年モニタリング・評価を実施することとする。